



# 道徳だより

令和3年6月

～夢と笑顔と「ありがとう」があふれる上里東小学校～



先月、保護者の皆様からの心に残った出来事やエピソードを紹介させていただきました。今月も、紹介させていただきたいと思います。また、道徳だより6月号では、4年生の授業の感想をまとめましたので、御家族で話のあらすじと同じ場面を思い浮かべながら、読んでいただければと思います。

この間、休みの日にお客さんが家にやってきました。(保険の方です)すると、「中へどうぞ。」と言って案内してくれました。私が保険内容の説明を聞いていると、自ら進んでコップに麦茶を入れ、お客さんに出してくれました。お客さんが帰る時には見送り、「また来てね」と。すばらしいおもてなしに感動しました。

(2年3組 白石 優奈さん)

## <4年生の授業より>

「あいさつができた」～礼儀～

★「挨拶することが自分の気持ちをうきうきとさせることに気づき、  
進んで誰にでも挨拶しようとする」



●お話の内容●

4月に転入してきたひろみは、登校中に歩道を掃除しているおばあさんからあいさつをされる。ひろみはびっくりして、あいさつを返すことができず、そのことがずっと気にかかっていた。数日後、またおばあさんを見かけたひろみは「今朝はあいさつしよう。」と心に決め、「おはようございます。行ってきます。」と言うことができ、ひろみは心がウキウキしてくる。

★なぜ、ひろみはあいさつをして「心がうきうき」してきたのでしょうか。

- ・返事をしたらおばあさんが笑顔だったから心がウキウキしたと思う。ぼくもひろみさんのような経験がある。
- ・おばあさんと目を合わせてあいさつができたから。学校に着いたらみんなといっぱいあいさつがしたいなと思った。
- ・あいさつをしたら、「今朝はしよう！」という気持ちがほぐれて、自分がほこらしくなったから。

★グループであいさつのロールプレイングをしました。

- 目線 「目を合わせてあいさつと目を合わせずにあいさつ」
- 表情 「笑顔であいさつと怒った顔であいさつ」
- 声の大きさ 「大きな声であいさつと小さな声であいさつ」

- ・怒った顔や目を合わせずにあいさつすると気持ちが悪かった。笑顔であいさつして、さらにおじぎもつけると、とても気持ちがいい。
- ・笑顔で言うと、相手も笑顔になる。自分の顔を見てくれないと、とても悲しいと思った。
- ・怒った顔や人の顔を見ないであいさつすると悲しい気持ちになるけれど、顔を見て元気にあいさつするとうれしくなる。あとは、相手がすぐに返事をしてくれるとうれしかった。

★気持ちのよいあいさつをするには・・・

- 相手の目を見てあいさつしよう！ ○笑顔であいさつしよう！ ○お辞儀もするとさらによい！
- 相手に聞こえる声であいさつしよう！ ○あいさつされたら、すぐに返そう！

